

令和5年度 事業計画（案）

特別養護老人ホームフラワーホーム

【総合的な目標】

日々変化する入所者個々の状態をしっかりと把握し、「その人らしさ」を大切にした介護サービスの提供に努め「いつも職員がいてくれるから安心」と思ってもらえるよう支援します。

ご家族と共に入居者が、最期の時まで安心して穏やかに過ごせるような関係づくりに努めます。

必要な介護用具・機器を活用して、職員が健康的に就業出来るように取り組みます。

短期入所施設では、利用者個々の能力に応じた活動（訓練・作成など）に取り組み、短期入所施設を利用しながらも、家族や地域の方との交流が図れるような機会の創出（家族との食事会・外出支援・ショートステイカフェ）を行います。コロナ感染症等により在宅での支援が困難な時には、関係機関との連携を図り、ショートステイでの受け入れを行える体制を整えます。

【入居者ケア・職員教育・人材確保】

①安心、安全、思いやりを感じてもらえる生活の実現

- ・入居者が「してきた、したかった、したい」という思いを大切に、入居者自身いつ何があるかわからない なかで、本人・職員の後悔にならないように1つずつ実現する。思いの実現の繰り返し、入居者の生きがいにつながり、また職員のやりがいにつながる。

②入居者の尊厳保持、人材育成

- ・ノーリフトの取り組みとして、リーダー含み、ノーリフトプロフェッショナルを育てる。また、ノーリフトに必要な福祉用具を揃えていく。
- ・山陵会職員10の心得を示し、高齢者を敬う丁寧な言葉かけ・言葉遣いを意識する。自らが言われたくない言葉や相手が傷ついたり、気持ちが沈んだりするような言葉は使わない。
- ・IDO オンラインセミナーを活用し、それぞれの専門職を対象とした研修の参加。また、老人福祉施設協議会等の外部研修や高齢者福祉施設研究会、SDGs勉強会等に参加してもらい、スキルアップに繋げる。

③働きやすい職場環境づくり

- ・職員の強み等活かし、役割づくりをして離職を防ぐ。
- ・法人内事業所での人事交流の実施。

④感染症対策及び災害対策の強化

- ・感染症対策委員会を中心とし、従来通り定期的な委員会の開催を行い、職員がフェーズ表を理解し、それに沿った感染症対策を行う。また、研修の実施、訓練（シミュレーション）の実施の遂行・準備を行う。
- ・新型コロナウイルス発生時の施設における業務継続計画（BCP）を作成する。
- ・自然災害（地震・水害等）発生時の施設における業務継続計画（BCP）の見直し行い、机上訓練を実施する。

【収益的活動】

①高水準な収入値を目指す

- ・従来型特養 193,961,760 円、ショートステイ 61,181,604 円を目標にする。

ショートステイにおいては、オンラインスプレッドシートを活用し、居宅介護支援事業所や関係職種とリアルタイムな空き状況・情報等を共有する。また、関係事業所への定期的な訪問・情報共有により顔の見える関係づくりを行い、目標値達成を目指す。

- ・事前に入所待ちの方の状況把握し、スムーズに入居出来るようにして空床日数を減らす。

【支出的活動】

①未来の介護に向けた介護ロボット・ICT 活用の検討

- ・入居者、職員双方が身体的負担を軽減すべく、福祉用具・介護ロボット等を職員と話をし、試供品等も活用しながら導入を進める。
- ・こすり洗い不要で肌にやさしいと言われている「泡シャワーKINUAMI U」の導入を検討する。

②業務の効率化

- ・勤務表作成に要する時間短縮をするべく、勤務表作成ソフトの導入を検討する。

【地域貢献活動】

①地域における公益的な活動

- ・身寄りのない人、低所得者等に対して、霧島市「身寄り」がなくても安心して暮らすためのガイドラインに沿って、介護・福祉サービスの相談、行政サービスへの相談を積極的に行う。
- ・「SDGs」について学び、持続可能な共生社会の実現に向けて、地域になくてはならない存在となるように法人として取り組みを行っていく。
- ・地域住民を対象とした特養見学会（眠りスキャン、Hug、リフト浴等）の実施。

令和5年度 研修計画・年間行事計画（案）

特別養護老人ホームフラワーホーム

	職員研修計画	行事計画
4月	加算について	開園記念日、観桜会、ID0 オンラインセミナー 火災想定総合避難訓練、高齢者福祉研究会 藤のお花見、入所検討委員会 法要法話（照明寺 藤谷先生）
5月	介護事故・介護事故発生時の対応について	端午の節句、地震想定避難訓練 法要法話（高陵寺 加来先生）、ID0 オンラインセミナー
6月	介護記録について	家族交流会、あじさい見物、ID0 オンラインセミナー 法要法話（照明寺 藤谷先生）
7月	感染症及び食中毒予防について	陵南幼稚園七夕交流、竹子みどりの少年団交流 高齢者福祉研究会、入所検討委員会 法要法話（高陵寺 加来先生）、ID0 オンラインセミナー
8月	事例検討会	戦争体験を語り継ぐ会、お盆法要、夕涼み会 火災想定夜間集合訓練 法要法話（照明寺 藤谷先生）、ID0 オンラインセミナー
9月	リスクマネジメント	敬老祝賀会、彼岸法要、十五夜 法要法話（高陵寺 加来先生）、ID0 オンラインセミナー
10月	人材育成研修	高齢者福祉研究会、入所検討委員会、コスモス見物 法要法話（照明寺 藤谷先生）、ID0 オンラインセミナー
11月	認知症ケア	ほぜ祭り、紅葉狩り、七五三 法要法話（高陵寺 加来先生）、ID0 オンラインセミナー
12月	看取りケア	クリスマス会、忘年会、餅つき 法要法話（照明寺 藤谷先生）、ID0 オンラインセミナー
1月	メンタルヘルス	初詣、七草、鏡開き、高齢者福祉研究会 ID0 オンラインセミナー 入所検討委員会、法要法話（高陵寺 加来先生）
2月	医療的ケア	節分の豆まき、不審者対応訓練 法要法話（照明寺 藤谷先生）、ID0 オンラインセミナー
3月	尊厳・権利擁護	桃の節句（ひなまつり）、彼岸法要 法要法話（高陵寺 加来先生）、ID0 オンラインセミナー

*外部研修については、必要性を検討し参加する。

*外部研修での復命・報告は職員研修会の中で随時行っていく。

*行事計画については、新型コロナウイルス感染症等の感染症の影響を鑑みて、開催の可否を判断する。

令和5年度 事業計画（案）

特別養護老人ホームフラワーホームユニット

【総合的な目標】

日々変化する入所者個々の状態をしっかりと把握し、「その人らしさ」を大切にした介護サービスの提供に努め「いつも職員がいてくれるから安心」と思ってもらえるよう支援します。

ご家族と共に入居者が、最期の時まで安心して穏やかに過ごせるような関係づくりに努めます。

必要な介護用具・機器を活用して、職員が健康的に就業出来るように取り組みます。

【入居者ケア・職員教育・人材確保】

①安心、安全、思いやりを感じてもらえる生活の実現

- ・入居者が「してきた、したかった、したい」という思いを大切に、入居者自身いつ何があるかわからないなかで、本人・職員の後悔にならないように1つずつ実現する。思いの実現の繰り返し、入居者の生きがいにつながり、また職員のやりがいにつながる。

②入居者の尊厳保持、人材育成

- ・ノーリフトの取り組みとして、リーダー含み、ノーリフトプロフェッショナルを育てる。また、ノーリフトに必要な福祉用具を揃えていく。
- ・山陵会職員10の心得を示し、高齢者を敬う丁寧な言葉かけ・言葉遣いを意識する。自らが言われたくない言葉や相手が傷ついたり、気持ちが沈んだりするような言葉は使わない。
- ・IDO オンラインセミナーを活用し、それぞれの専門職を対象とした研修の参加。また、老人福祉施設協議会等の外部研修や高齢者福祉施設研究会、SDGs勉強会等に参加してもらい、スキルアップに繋げる。

③働きやすい職場環境づくり

- ・職員の強み等活かし、役割づくりをして離職を防ぐ。
- ・法人内事業所での人事交流の実施。

④感染症対策及び災害対策の強化

- ・感染症対策委員会を中心とし、従来通り定期的な委員会の開催を行い、職員がフェーズ表を理解し、それに沿った感染症対策を行う。また、研修の実施、訓練（シミュレーション）の実施の遂行・準備を行う。
- ・新型コロナウイルス発生時の施設における業務継続計画（BCP）を作成する。
- ・自然災害（地震・水害等）発生時の施設における業務継続計画（BCP）の見直し行い、机上訓練を実施する。

【収益的活動】

①高水準な収入値を目指す

- ・安定した事業経営のために、134,034,560 円を目標にする。
- ・事前に入所待ちの方の状況把握し、スムーズに入居出来るようにして空床日数を減らす。

【支出的活動】

①未来の介護に向けた介護ロボット・ICT 活用の検討

- ・入居者、職員双方が身体的負担を軽減すべく、福祉用具・介護ロボット等を職員と話をし、試供品等も活用しながら導入を進める。
- ・こすり洗い不要で肌にやさしいと言われている「泡シャワーKINUAMI U」の導入を検討する。

②業務の効率化

- ・勤務表作成に要する時間短縮をするべく、勤務表作成ソフトの導入を検討する。

【地域貢献活動】

①地域における公益的な活動

- ・身寄りのない人、低所得者等に対して、霧島市「身寄り」がなくても安心して暮らすためのガイドラインに沿って、介護・福祉サービスの相談、行政サービスへの相談を積極的に行う。
- ・「SDGs」について学び、持続可能な共生社会の実現に向けて、地域になくてはならない存在となるように法人として取り組みを行っていく。
- ・地域住民を対象とした特養見学会（眠りスキャン、Hug、リフト浴等）の実施。

令和5年度 研修計画・年間行事計画（案）

特別養護老人ホームフラワーホームユニット

	職員研修計画	行事計画
4月	加算について	開園記念日、観桜会、ID0 オンラインセミナー 火災想定総合避難訓練、高齢者福祉研究会 藤のお花見、入所検討委員会 法要法話（照明寺 藤谷先生）
5月	介護事故・介護事故発生時の対応について	端午の節句、地震想定避難訓練 法要法話（高陵寺 加来先生）、ID0 オンラインセミナー
6月	介護記録について	家族交流会、あじさい見物 法要法話（照明寺 藤谷先生）、ID0 オンラインセミナー
7月	感染症及び食中毒予防について	陵南幼稚園七夕交流、竹子みどりの少年団交流 高齢者福祉研究会、入所検討委員会 法要法話（高陵寺 加来先生）、ID0 オンラインセミナー
8月	事例検討会	戦争体験を語り継ぐ会、お盆法要、夕涼み会 火災想定夜間集合訓練 法要法話（照明寺 藤谷先生）、ID0 オンラインセミナー
9月	リスクマネジメント	敬老祝賀会、彼岸法要、十五夜 法要法話（高陵寺 加来先生）、ID0 オンラインセミナー
10月	人材育成研修	高齢者福祉研究会、入所検討委員会、コスモス見物 法要法話（照明寺 藤谷先生）、ID0 オンラインセミナー
11月	認知症ケア	ほぜ祭り、紅葉狩り、七五三 法要法話（高陵寺 加来先生）、ID0 オンラインセミナー
12月	看取りケア	クリスマス会、忘年会、餅つき 法要法話（照明寺 藤谷先生）、ID0 オンラインセミナー
1月	メンタルヘルス	初詣、七草、鏡開き、高齢者福祉研究会 入所検討委員会、法要法話（高陵寺 加来先生） ID0 オンラインセミナー
2月	医療的ケア	節分の豆まき、不審者対応訓練 法要法話（照明寺 藤谷先生）、ID0 オンラインセミナー
3月	尊厳・権利擁護	桃の節句（ひなまつり）、彼岸法要 法要法話（高陵寺 加来先生）、ID0 オンラインセミナー

*外部研修については、必要性を検討し参加する。

*外部研修での復命・報告は職員研修会の中で随時行っていく。

*行事計画については、新型コロナウイルス感染症等の感染症の影響を鑑みて、開催の可否を判断する。

令和5年度 事業計画（案）

フラワーホームデイサービスセンター

【総合的な目標】

- ・ご利用者と語りを通して希望を引き出し、望む暮らしを実現する。
- ・可能な限り自力で歩く、動く事を目標に動作・活動・機能訓練を行う。
- ・ご家族や各サービス事業所と連携を図りご利用者の生活をサポートする。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

①ご利用者と日々語り合う事を大事にする

ご利用者の過ごし方、暮らしぶり、笑顔に着目し、様々な場面で気づいた事をも皆で共有する。

また、アセスメントとして語りを通しご利用者の希望（人生の過ごし方のニーズ）を引き出す。そしてサービスの目的を明確にし、効果的なプログラムを提供する。

②活動・機能訓練により、生活動作改善に結びつける

筋力・バランス能力向上を目指し、可能な限り自力で歩く・動く事を目標にする。ご利用者の状態に合わせて頻度や負荷量を調整し、個別・グループで機能訓練を行う。車の乗降、移動、入浴、食事、トイレ動作等、ご利用者の『する・できる』が増えるよう促す。また、活動の多様化を図り、計画的に季節を感じる制作物や身体を動かす行事を近隣の公園建設後に積極的に取り組む。

③花の苗作り、門松、しめ縄など季節のお飾りを作成し、商品として販売を継続する

ご利用者が得意な事やできる事を行う環境を創り、「働く」ことで社会や人とのつながりを感じ地域・社会に貢献する。

④家族・主治医・各サービス事業所と連携を図る

家族が介護や認知症に関する理解を深める事や家族同士の交流を目的に家族会を再開する。

家庭での悩みや家族の思いを職員が共有し、デイサービスでのケアや機能訓練の計画に生かす。

本人・家族の体調や状況の変化、地域の認識の変化等を柔軟に受容し、各サービス事業所と連携を図りながら即時的に対応する。日頃の気付きを大事にし、特にグループ内の事業所と連携を図る際には在宅部門グループで集まって話し合う環境を創る。

⑤職員教育・質の向上

個々の職員が日々の学びを通して自己研鑽する。また、毎日の終礼でお互いの気付きを共有する。コミュニケーションを盛んに取り合う事で、お互いの存在や価値を感じ、働きがいのある環境を作る。職員研修会やオンラインセミナーを有効に活用する。不足している部分はチームで補い、質の向上を図る。

【収益的活動】

①現利用者の継続的利用

上記の利用者ケアを実践し在宅生活をサポートする。必要な方には口腔機能向上加算、栄養改善加算、認知症加算の算定を行う。

②デイサービスの特徴を発信していく

デイサービスでの活動内容、様子を広報誌、SNS（フェイスブックやInstagram）を通じて、外部へ発信、周知を広め新たな利用者獲得に繋げていく。

③介護保険外サービスの提供

自主事業として「自費デイサービス事業」を継続して行う。

【支出的活動】

①事業所の立て直しの検討を行う

どのような空間があればサービスが提供しやすいかを考える。ソフト面とハード面の両方を考え、様々な場面でどのようなケアを行うのか検討しイメージをまとめる。

②活動・機能訓練の支援機器の追加

新たに活動時や機能訓練時に使用できる支援機器を検討する。

【地域貢献活動】

利用者の得意な技術と知識を生かした活動を行う。

- ①利用者と雑巾等を作成し、定期的に保育園・小学校に寄贈する。また、コロナ過以前のような家庭科の授業に出向き、子供達に裁縫を教える取り組みを行う事を検討する。
- ②SDGsの観点から、廃材を利用し積み木や知育玩具（ボードゲーム）を作成し保育園に提供する。

ご利用者と地域との交流を広げる。

- ①活用できる社会資源や地域の情報を収集し、ご利用者に提供する。
- ②地域の行事や活動に参加し、地域の人々と良好な関係を築く。

令和5年度 年間研修計画（案）

フラワーホームデイサービスセンター

	研修項目	研修内容
4月	接遇について	接遇マナー、言葉使いについて (外部講師を検討)
5月	利用者ケアについて(口腔ケア)	口腔ケアを日常的に行うことでしっかりと嚙んで飲み込める口づくりを目指す
6月	SNSを使った広報活動について	フェイスブックやInstagramを使用したデイの特色の伝え方を学ぶ
7月	感染症予防・対策について	感染症の予防について学び、事業所内の感染、蔓延を防ぐ
8月	スキルアップ研修会	チーム作りやスタッフが持つべき意識について学ぶ
9月	利用者・家族の心理的理解について	介護する側・される側の心理的負担を考える
10月	人材育成研修	「成長」とは何かを考え理解し、働く意欲の原動力を学ぶ
11月	認知症ケア	認知症・うつ病の高齢者との関りを学ぶ
12月	介護技術について	介護におけるフィジカルアセスメントの意義、観察ポイントを学ぶ
1月	苦情・相談について	事例検討・振り返り 今後の対応について
2月	救急救命 AEDの使い方	AEDの使い方、心肺蘇生法など緊急時に対応できるように学ぶ
3月	リスクマネジメントについて	昨年度インシデント・アクシデントの反省 事故予防・発生時の対応について

*外部研修については、必要性を検討し参加する。感染予防に留意し行う。

*外部研修での復命・報告は職員研修会の中で随時行っていく。

令和5年度 年間行事計画（案）

フラワーホームデイサービスセンター

4月	上旬	桜見物	
	下旬	園芸活動	
5月	上旬	春の新緑ドライブツアー	【 社会参加活動 】 積み木・雑巾 プレゼント ・溝辺町内 小学校 幼稚園 保育園 製作物品販売 近隣地域
6月	上旬	健康教室	
	中旬	選択レクリエーション	
	下旬	七夕飾り作り	
7月	上旬	そうめん流し	
	下旬	夏祭り	
8月	上旬	買い物行事	
	中旬	盆団子作り	
9月	上旬	ブドウ狩り	
	中旬	敬老演芸会	
	下旬	案山子見学	
10月	上旬	運動会	
	中旬	秋の音楽会	
11月	上旬	秋の紅葉ドライブツアー	
	中旬	季節の飾りつけ作成	
12月	上旬	買い物行事	
	中旬	正月飾り作成	
	下旬	忘年会	
1月	上旬	初詣参り	
	中旬	正月遊び	
	下旬	新春グランドゴルフ大会	
2月	上旬	節分・豆まき	
	中旬	ひな祭り飾りつけ作成	
3月	下旬	花見（花見弁当）	

※上記の社会参加活動は予定であり外出を要する行事は、感染予防に努めながら実施していく

令和 5 年度 事業計画（案）

フラワーホーム ホームヘルプサービス

【総合的な目標】

在宅生活を支える一員として、利用者及びご家族が在宅生活を安心して継続できるように支援を行い、

「自宅が一番。」とって頂けるようなサービスを提供していきたいと思います。ご利用者の想いを尊重しながらご利用者にとって在宅を継続するためには何が必要か常に考えられる人材を事業所全員で目指します。

【利用者ケア・職員教育】

利用者ケア

①在宅での継続的な支援

離職率が低いことで、ヘルパーがご利用者にかかわらせていただく月日がいからこそ気付くことのできる事があります。ご利用者の歴史、生活の状況をいろんな場面で把握している為、認知機能が低下してもご利用者の根本的な希望等汲み取ることができています。心身ともに元気に長く在宅生活を続け頂くためにも、ご利用者の意思及び人格を尊重し、支援を行っていきます。

②在宅重度者への支援の強化

今年度より常勤が 4 名になった事により、在宅で生活をされている介護度が高いご利用者や変化の著しい

ご利用者への柔軟な対応ができる体制となりました。訪問時間外での安否確認を行うことで在宅生活が可能な利用者に関しては訪問し状態変化に応じた対応に努めます。

③サービスの継続的提供

新型コロナウイルス感染症に感染してしまった利用者に訪問するにあたって、ご利用者ごとの B C P を策定し多職種連携を図りながら継続して支援にあたります。

ご利用者の支援方法や感染症対策の研修を事業所内で行い、安心して支援を継続できるように環境整備を行います。

④訪問介護員のスキルアップに対する取り組み

訪問介護員は、年に 1 度自分自身で介護力の評価を行い、改善を図ります。今後自分に必要なスキルを明確化することで次年度に向けて目標を策定します。その目標達成のための研修を e-ラーニングで行います。受講の体勢を整えることによって、個々のスキルアップにつなげることができご利用者足度の高いケアができるようになります。また、管理者から助言やアドバイスを定期的に行い、日々の悩み事への対応等、バックアップできる体制を作ります。

⑤働きやすい職場づくり

ヘルパーが安心して支援できるよう、また負担を軽減できるように福祉用具の導入を行います。

年齢を気にせず、可能な限り支援を行えるように環境を整えます。

経験年数に関係なく意見交換ができるような事業所を目指します。

職員教育

①質の高いケアの提供

ミーティングや随時情報の共有をする。勉強会では、対応を工夫しての成功例や失敗例、またヒヤリハット等介護事故予防につなげるための事例を挙げて、実務に役立てることができるよう意見交換し、お互いを高め合い、統一した質の良いケアが継続できるようにしていく。

②訪問介護の心構え

支援においての、介護技術・接遇マナーの向上。言葉遣い、利用者の生活に添った介護技術の提供を行えるようにしていく。並びに、感染対策も継続して徹底し安全な支援を行っていく。

【支出的活動】

- ①備品購入の見直し、こまめな電源オフを心がける。あらゆる身近なものから「もったいない」を元にSDGを意識した節約に努める。

【地域貢献活動】

①地域の高齢者のサポート等

利用者宅の近隣に住む高齢者等が困っていたら、ゴミ出しや軽微な困りごとのお手伝いをする。また、困っていること等あれば寄り添い話を傾聴する。

②地域の行事参加への連絡調整

地域の行事参加（老人会・敬老会・家族会）の為に利用者とその家族、及び地域の方々と日時・場所の確認などの連絡調整を行う。連絡を取り合う中で地域の方々とヘルパーの交流も図っていく。

令和5年度 研修計画（案）

フラワーホーム ホームヘルプサービス

月	研修項目	研修内容
4月	接遇について 加算について	接遇マナー・言葉遣いについて 加算について
5月	認知症の理解と対応について	認知症状の症状・対応について
6月	調理のしかた BCPについて	減塩調理・治療食・介護食について 自然災害・感染症（策定検討会）
7月	熱中症・脱水予防	熱中症の症状、対応について
8月	食中毒について	食中毒予防のポイント殺菌 除菌方法
9月	介護事故発生防止	ヒヤリハットの事例による対応の検討
10月	感染症予防	新型コロナウイルス感染症について 感染予防方法・訪問時の対応について
11月	個人情報・プライバシーの保護	個人情報の取り扱いについて
12月	口腔ケア	安全な口腔ケアを行うために 義歯洗浄の正しい方法
1月	褥瘡の理解と予防・排泄ケア	褥瘡の知識、予防方法、オムツの当て方
2月	緊急時対応について	事故発生時の対応、連絡の手段等
3月	高齢者虐待・身体拘束	虐待の種類及び身体拘束についての理解

＊外部研修については、必要性を検討し参加する。

（新型コロナウイルス感染症についてはその状況に応じて予防策等の研修を行う。）

＊全員参加のヘルパーミーティングは密になってしまうため、感染状況によって中止をやむを得ない場合もある。

その際は、書面（個人情報の保護の為配布は不可、ヘルパー室内にて掲示）にて連絡事項・利用者状況の報告・連絡等を行う。

令和5年度 事業計画（案）

フラワーホーム居宅介護支援事業所

【総合的な目標】

- ①フラワーホーム居宅介護支援事業所は介護保険の基本理念である「自己決定権の尊重」「生活の継続」「自立支援」を基本とし、利用者および家族の意向を踏まえ、生活状況や課題、環境等を把握し利用者の尊厳を第一に考え支援を行う。
- ②ご本人を中心とした支援チームを作る為に医療・福祉・行政・各関係機関との連携を図り、チームの『架け橋』役として迅速な対応と適切な情報共有を行う。
- ③目の前にいる方々と繋がりを継続し在宅生活を諦めさせない応援団（サポーター）として地域との共生を目指す。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

- ①在宅生活を支える為に、各関係機関や各事業所と連携し必要に応じてカンファレンスを行い、利用者の状態変動時等に迅速な対応できる体制作りや利用者の生活の質を向上させる。
- ②多種多様なニーズや、課題の複雑化に対応できるマネジメント技術や、ソーシャルワーク技術等の専門性のある研修を通じて、自己研鑽を行い提供する生活支援サービスが包括的に提供されるような居宅サービス計画が行えるようする。
- ③2ヶ月に1回行っている、外部講師を招いた研修（事例研究等）を継続し、各ケアマネの質の向上を目指し、法人内だけではなく地域のケアマネが悩みの共有や学びの場がある環境を継続する。

【収益的活動】

- ①特定事業所加算Ⅱの算定要件や運営基準を守り減算とならないようにする。
- ②サービス利用休止登録者や、入院等に伴う介護サービスを利用されていない方々への相談対応支援を継続し切れ目のない関係性を構築する。
- ③在宅での生活が継続出来るように常日頃から利用者様や、ご家族の状況を把握し安易に病院への入院や施設入所に繋がらないように日々の支援を行う。

【支出的活動】

- ①介護保険ソフト運営に必要な備品（タブレット）の購入。
- ②外部講師による研修にて、人材育成、スキルアップを図る
- ③外部研修及び介護支援専門員協会への入会と資質向上を目的とした書物購入

【地域貢献活動】

- ①BCPの作成に尽力し自事業所だけではなく地域の災害対策も策定する。
- ②地域の方々や児童・生徒への見守り声掛け活動を推進し、立ち寄りやすい地域に根差した総合相談事業所作り。

令和5年度 研修計画（案）

フラワーホーム居宅介護支援事業所

	研修項目	研修内容
4月	倫理及び法令遵守（ID0 法定研修） 介護保険制度について	・医療保険・介護保険・倫理研修 ・障害者福祉・生活保護・年金
5月	基本接遇（ID0 法定研修） 認知症について（ID0 法定研修） BCP 作成検討会（年度計画作成）	・接遇やマナー ・認知症ケア全般に関する研修 ・BCP 作成におけるスケジュール作成
6月	介護予防・介護進行予防（ID0 法定研修） 事例検討会	・介護予防や進行予防について ・他事業所との事例検討
7月	ターミナルケア（ID0 法定研修） 個人情報保護について BCP 作成検討会（原本作成）	・ターミナルケアについて ・プライバシー保護（ICT も含む） ・原本の作成開始
8月	事故発生再発防止（ID0 法定研修） 看取りケア	・事故発生または再発防止 ・死生観（看取り支援） ・アドバンス・ケア・プランニング
9月	医療的理解（ID0 法定研修） 事例検討会 BCP 作成検討会（原本確認）	・医療に関して ・外部ケアマネとの事例検討 ・原本確認 訂正 仮運用
10月	感染食中毒予防（ID0 法定研修） ハラスメントについて	・感染症及び食中毒に関して ・ハラスメントに関する研修
11月	緊急時対応（ID0 法定研修） スーパービジョン	・リスクマネジメント・緊急時対応 ・対人援助技術、地域援助
12月	プライバシー保護（ID0 法定研修） BCP 作成検討会（地域 BCP）	・プライバシー保護（ICT 含む） ・BCP に地域課題等を追加
1月	高齢者虐待防止（ID0 法定研修） 事例検討	・高齢者虐待防止について ・事業所内事例検討
2月	BCP について（ID0 法定研修） BCP 検討会（策定 運用開始） ケアマネジメント	・自然災害や感染症を含めて策定完了と運用開始 ・ケアマネが直面する倫理的課題等
3月	身体拘束排除（ID0 法定研修） 介護保険制度および地域包括ケア	・身体拘束排除に関する研修 ・社会資源、インフォーマル

*外部研修については、個別研修目標に沿って検討し参加する。

*外部研修での復命・報告は職員研修会の中で随時行っていく

※偶数月はケアマネ定例研修会（事例検討・研究）を開催予定

IDO オンライン研修（ケアマネスキルアップコース）

	研修項目	参加氏名
4 月	【実践者】ケアマネジメントの生産性	富田 後藤
5 月	【初任者】セルフ・アセスメントケアプラン 【主任】部下指導のためのアセスメント	宮田 萩原
6 月	【実践者】どんなアセスメントしてる？（１） 【初任者】事業所連携と調整力	碓山 宮田
7 月	【主任】専門職は「質問」で育つ 【実践者】どんなアセスメントしてる？（２）	萩原 碓山
8 月	【初任者】タイムマネジメントで超効率化	宮田
9 月	【実践者】アクションプランとマスタープラン 【主任】意欲向上の課題設定と指導	富田 後藤
10 月	【主任】苦手意識との向き合い方	碓山
11 月	【実践者】運営管理とソーシャルワークの両立	萩原
12 月	【主任】玉城流 悩みの解きほぐし方 【実践者】アクションプランってどう作る？	後藤 萩原
1 月	【実践者】居宅 BCP の作成 【初任者】医療職、行政との連携	富田 宮田
2 月	【主任】置かれた環境の活かし方 【実践者】ケアマネスキルアップ	後藤 碓山
3 月	【主任】指導の評価と成長 【実践者】振り返りと事例検討	後藤 富田

- ①毎月第三火曜日に開催される研修に参加する。
- ②翌月の事業所内研修にてフィードバック実施（発表１０分 共有や質問２０分）
- ③研修参加が難しい場合は代替を自身で選択する事。
- ④その他、受講したい研修がある場合には各自シラバスを確認し参加を行う。

令和5年度 事業計画（案）

地域包括支援センター溝辺支所

【総合的な目標】

少子高齢化、人口減少等により社会構造が変化し、地域住民が抱えるニーズは複雑化しています。住み慣れた地域で誰もが暮らしやすい地域作りの為に、高齢者に留まらず子供や障害者など世代を超えた多様なニーズや課題に重層的に対応し、地域住民や各関係機関との連携を図り、総合相談窓口としての役割を担っていきたい。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

- ①地域の総合相談窓口として、顔なじみの関係作りを行い、住み慣れた地域で生活出来るように支援する。
- ②溝辺圏域にあるサービス事業所との連携・強化を図る。
- ③介護者の抱えている悩み事など打ち明けられる場として、家族交流会を企画する。
- ④様々な相談に対応できるように研修会などを通じてスキルアップを図る。

【収益的活動】

- ①委託費による事業
霧島市の委託費で運営する。

【支出的活動】

- ①介護者が悩みや不安を相談し、介護者相互の交流の場を提供する。

【地域貢献活動】

- ①介護・福祉の窓口機能
常に関かれた相談機関としての役割を果たし、地域住民の困りごとに対応する
- ②地域の行事などに参加し、地域住民との顔の見える関係作りを行う。

令和5年度 研修計画（案）

地域包括支援センター

	研修項目	研修内容
4月		
5月	地域包括・在宅介護支援センター総会	
6月		
7月		
8月	包括主催介護支援専門員研修	
9月		
10月	県地域包括・在介職員研修会	
11月		
12月		
1月	包括主催介護支援専門員研修	
2月	県地域包括・在介職員研修会 介護予防従事者等研修会	
3月		

*外部研修については、必要性を検討し参加する。

*外部研修での復命・報告は職員研修会の中で随時行っていく。

令和5年度 年間行事計画（案）

地域包括支援センター溝辺支所

4月	上旬	
	中旬	民生委員定例会 ・ あしたば会 ・ 霧島市包括業務連絡会
	下旬	
5月	上旬	
	中旬	民生委員定例会 ・ あしたば会 ・ 霧島市包括業務連絡会
	下旬	鹿児島県地域包括支援センター総会
6月	上旬	
	中旬	民生委員定例会 ・ あしたば会 ・ 霧島市包括業務連絡会
	下旬	みやま会
7月	上旬	
	中旬	民生委員定例会 ・ あしたば会 ・ 霧島市包括業務連絡会
	下旬	地域包括支援センター関係法人連絡会
8月	上旬	
	中旬	民生委員定例会 ・ あしたば会 ・ 霧島市包括業務連絡会
	下旬	包括主催介護支援専門員研修
9月	上旬	
	中旬	民生委員定例会 ・ あしたば会 ・ 霧島市包括業務連絡会
	下旬	みやま会
10月	上旬	
	中旬	民生委員定例会 ・ あしたば会 ・ 霧島市包括業務連絡会
	下旬	鹿児島県地域包括在介研修会
11月	上旬	
	中旬	民生委員定例会 ・ あしたば会 ・ 霧島市包括業務連絡会
	下旬	
12月	上旬	
	中旬	民生委員定例会 ・ あしたば会 ・ 霧島市包括業務連絡会
	下旬	みやま会
1月	上旬	
	中旬	民生委員定例会 ・ あしたば会 ・ 霧島市包括業務連絡会
	下旬	包括主催介護支援専門員研修
2月	上旬	
	中旬	民生委員定例会 ・ あしたば会 ・ 霧島市包括業務連絡会
	下旬	鹿児島県地域包括在介研修会 ・ 介護予防従事者等専門研修会
3月	上旬	霧島市地域包括支援センター関係法人連絡会
	中旬	霧島市業務連絡協議会 ・ あしたば会
	下旬	みやま会

令和5年度 事業計画(案)

小規模多機能ホーム ふもとの家

【総合的な目標】

事業所理念である三者の喜び「関わる人みんなが笑顔で地域に暮らし続けるために私達はここにいます」を合言葉に、全ての職員がご利用者目線に立ち、笑顔いっぱい安心してできる家庭的な環境の中、ご利用者がいつまでも「自分らしく」自己決定権のある主体的な生活を送って頂けるよう支援していきます。また、様々な支援や活動を実践しご利用者、ご家族、地域の方、関わる全ての方からの信頼される地域に永く必要とされる地域共生である事業所を目指します。

【利用者ケア・職員教育】

①本人の思いを大切にする

常に全ての職員がご利用者目線に立った介護サービスを提供し、担当職員が中心となり、ご家族や地域と連携を図りながら、生活歴や地域との繋がり等の情報収集から本人を知り、また思いを知ることにより、いつまでも主体的でいられるよう支援に繋げ「本人の思い」を実現します。

②個別支援を充実させる

ご利用者1人ひとりの声を大切にします。定期的なケアカンファレンス(2回/月)を実施し、支援内容が画一的にならないよう、ご利用者・ご家族の意思やニーズ、人格を尊重したその方らしい日々が過ごせるようケアプランに基づき支援を提供します。

③職員の意識改革と資質の向上

様々な研修への参加機会を設け、自己研鑽に励むことのできる環境を作り、研修に参加した職員が学べた技術を共有できる場を設け皆で成長できる環境をつくります。

④笑顔いっぱいの職場環境

コミュニケーションを大切にし、管理者、リーダーはスタッフが抱える悩みや思いに耳を傾けチームの抱える課題を把握し適切な解決へ導けるように努めチーム力の向上を目指します。また職員が発案した企画などは積極的に実行し、職員がもつ得意分野を活かせる働き甲斐、やりがいのある職場環境づくりに努めます。

【収益的活動】

①継続的な支援による安定経営

ご利用者・ご家族が、在宅での介護・生活を諦めてしまうことのないように、送迎時や訪問の際に、職員がご利用者・ご家族の声に耳を傾け、遠方のご家族には担当職員による電話での定期連絡(1回/月)を実施し関係性の構築に努めます。またご利用者の身体機能維持・向上を図ることにより長期に渡るご利用を可能とし安定経営を目指します。

②他事業所との連携

制度や仕組み、地域と本人とを切り離さない支援を常とし、ご利用者・ご家族の介護負担・経済的な負担についても都度、相談に応じ、地域での暮らしが継続できるよう支援する。必要に応じて、他事業所との連携、後方支援を行います。

③新規登録者の獲得

ご利用者、ご家族をはじめ、地域や居宅介護支援事業所等からも求められる魅力的な事業所を作り、地域連携室や包括支援センター等への勧誘等、登録者確保のため空き状況を伝える等、定期的に営業活動を行い新規獲得につなげます。

【支出的活動】

①ノーリフトケアの推進

安心、安全なケアを提供する為に必要な福祉用具を購入し介護をする側、受ける側双方に負担のない業務環境づくりを行います。また、ノーリフトケア講習等を企画し介護技術の習得、実践し双方の負担軽減を図ります。

②感染症対策

感染症発生時、ゾーニング対応等に必要な物品を揃え速やかな対応ができるよう準備し、法人本部の感染症対策委員会へ定期的に参加、情報・実状等を共有ふもとの家の業務継続に向けた計画（BCP）の策定、研修の実施、訓練（シミュレーション）の遂行・準備を行い、支援を継続できるよう備えます。

【地域貢献活動】

①地域交流活動

地域交流活動『お茶ったもんせ』を地域の感染症の状況も考慮しながら、感染症対策を講じた上で開催し地域住民の方との繋がりを大切にします。

②地域の集いの場の提供

あずま屋の開放や畑での野菜収穫といった事業所の資源を地域の方々との交流の場として有効活用し地域に根差した事業所を目指します。

③運営推進会議の活用

運営推進会議を定期的に行い推進委員の方々との情報共有を図り地域の困りごと等に協力する等地域に貢献できることは積極的に協力し、地域の方々から協力を得られる際には協力をもらい支援の質の向上に繋げ、地域との繋がりを大切にします。

令和５年度 研修計画（案）

小規模多機能ホーム ふもとの家

	研修項目	研修内容
４月	小規模多機能型居宅介護について	小規模型居宅介護に期待される様々な事業所の取り組みについて学ぶ。
５月	認知症及び認知症ケアに関する研修	認知症の定義や中核症状、周辺症状を理解し認知症高齢者への対応方法を学ぶ。
６月	基本的な介護技術に関する研修	認知症高齢者とのコミュニケーション方法や自立支援について学ぶ。
７月	身体的拘束等の排除のための取り組みに関する研修	身体拘束がもたらす弊害を理解し、排除に向けたケア方法を学ぶ。高齢者虐待防止法を学び、人権意識を再確認する。
８月	利用者の尊厳の実践的展開に関する研修	尊厳とは何か？理論間をはじめ、対人援助技術に関する専門的な知識・技術価値観を学ぶ。
９月	介護記録の書き方に関する研修	ライフサポートワークの意義、活用法、プランに基づく記録の仕方など学ぶ。事故報告書やヒヤリハットの書き方。
１０月	食事や嚥下に関する研修	糖尿病や高血圧、嚥下障害の方の食事の方法、口腔ケアについて学ぶ。
１１月	非常災害時の対応に関する研修	非常災害時の避難誘導、連絡網等について学ぶ。
１２月	感染症及び食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修	感染症及び食中毒の発生要因や種類について学び、事業所内の予防策や蔓延防止策を徹底する。
１月	プライバシー保護の取り組みに関する研修	ケース記録の取り扱いや日常のケアにおけるプライバシーに配慮した声のかけ方。
２月	事故発生等緊急時の対応に関する研修	心肺停止、転倒事故、誤嚥・誤嚥事故等発生時の対応について学ぶ。
３月	身体的拘束等の排除のための取り組みに関する研修	身体拘束がもたらす弊害を理解し、排除に向けたケア方法を学ぶ。高齢者虐待防止法を学び、人権意識を再確認する。

＊外部研修については、必要性を検討し参加する。

＊外部研修での復命・報告は職員研修会の中で随時行っていく。

令和5年度 年間行事計画（案）

小規模多機能ホーム ふもとの家

4月	上旬	桜の花見
	中旬	
	下旬	お茶ったもんせ
5月	上旬	藤の花見
	中旬	あく巻き作り
	下旬	お茶ったもんせ 運営推進会議
6月	上旬	梅干し作り
	中旬	
	下旬	お茶ったもんせ
7月	上旬	照明保育園との七夕作り
	中旬	ふもとの家夏祭り
	下旬	お茶ったもんせ 運営推進会議
8月	上旬	そうめん流し
	中旬	
	下旬	お茶ったもんせ
9月	上旬	
	中旬	敬老会
	下旬	おはぎ作り お茶ったもんせ 運営推進会議
10月	上旬	
	中旬	山田の案山子見学 秋の遠足
	下旬	
11月	上旬	ほぜ祭り
	中旬	紅葉狩り 秋の遠足
	下旬	お茶ったもんせ 運営推進会議
12月	上旬	
	中旬	門松、しめ縄作り
	下旬	餅つき そば打ち クリスマス忘年会 お茶ったもんせ
1月	上旬	
	中旬	神宮参拝
	下旬	お茶ったもんせ 運営推進会議
2月	上旬	節分
	中旬	
	下旬	お茶ったもんせ 梅の花見
3月	上旬	
	中旬	
	下旬	お茶ったもんせ 運営推進会議